

Power Movie PCI 2

ユーザーズマニュアル

canopus

ご使用の前に

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



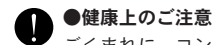
この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。



警告



●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。



警告



●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにはパソコン本体や周辺機器の筐体（電源ユニットなど）、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。



注意



●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。メーカーに直接お問い合わせいただいてお確かめください。



●他社製品と併用されるとき注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあります、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けしてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

(6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。

(7) カノープス、CANOPUS/ カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。

(8) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

(9) Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標または登録商標です。



表記について

■本書は Power Movie PCI2 のセットアップおよびアプリケーションの使用方法について記載したものです。

■本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。

■本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。

■本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。

■本書では Microsoft® Windows® 2000 operating system、Microsoft® Windows® XP operating system を Windows 2000、Windows XP と表記します。

■説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。

個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報下記以外の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせいたします。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

1. ご利用の当社製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
* 調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供いたします。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方お客様への賞品の発送
* お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問い合わせは <http://www.canopus.co.jp/info/> までご連絡ください。

ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノープス株式会社

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830 (10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00)

土、日、祝日および当社指定休日を除く

Power Movie PC12
ユーザーズマニュアル
Version 1.0J

September 26, 2005

Copyright © 2005 Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.

はじめに

Power Movie PCI2 の概要

Power Movie PCI2 は、PCI バスマスタ方式の多機能ビデオオーバーレイ表示ボードです。パソコンのデスクトップ上に、なめらかな動きの高画質動画ウィンドウを2画面同時にオーバーレイ表示できます。静止画キャプチャ、ビデオ出力機能などを備えており、複数のビデオソースを用いた複雑な動画表示をデスクトップ上でコントロールできます。

特 長

●高画質ビデオオーバーレイ表示

PCI バスマスタ方式を用いたオーバーレイ表示方式を採用。ビデオデコードによってデジタル化されたデータは、グラフィックボードのフレームメモリに直接転送され、コマ落ちのないなめらかな動画表示を実現します。データの転送と同時に、デスクトップの表示モードに合わせた色数への変換や YUV-RGB 変換も行います。

グラフィックボードのアナログ RGB 信号を引き回したり、アナログスイッチ等の回路を経由しないため、ノイズのない高画質な表示が可能です。

●2つのビデオを同時表示

4 系統用意されたビデオ入力から2つを選択し、1画面はグラフィックボードのオンスクリーンメモリへ直接書き込むことで、もう1画面はオフスクリーンメモリに転送したデータを Direct Draw の機能でオーバーレイ表示することで、同時に2画面のビデオ画像表示を可能にしました。それぞれ独立したウィンドウ内に表示させることはもちろん、一方の画面の上に他方の画面を子画面として重ねるなど多彩な表示が可能です。それぞれの表示サイズの設定や、画質の調整等は付属のコントロールソフト「Video Magic」で行います。表示サイズは1つが Windows のフルサイズまで、もう1つは 640x480 が最大となります。

●用途を広げるビデオ出力機能

入力ビデオ信号をスルーでビデオ出力するだけでなく、フリーズさせたり、リアルタイムで左右・上下反転することも可能です。付属のアプリケーション「Slide Theater」を使ってビットマップ (16 または 24 ビット) および JPEG 形式の静止画をビデオ出力することもできます。

●開発キットをオプションで用意

開発キットを用意しています。オーバーレイ表示制御、ビデオ出力制御、静止画取り込みなどの機能をサポートし、ビデオ画像を扱うシステムやアプリケーションの開発を行うことができます。

目 次

はじめに	5
Power Movie PCI2 の概要	5
特 長	5
第 1 章 - 確 認	
使用許諾契約書について	10
パッケージ内容の確認	10
お問い合わせについて	11
注意事項	12
動作環境の確認	13
第 2 章 - セットアップ	
各部の名称と機能	16
コネクタ配置	16
ボードの装着	18
周辺機器の接続	20
S ビデオ端子をもつ機器との接続	20
コンポジットビデオ端子をもつ機器との接続	20
ドライバのインストール	21
Windows 2000 ドライバのインストール	21
Windows XP ドライバのインストール	24
ソフトウェアのインストール	26
アンインストール	28

第3章 - 使用方法

Video Magic.....	32
Video Magic の機能.....	32
リモコンウィンドウ.....	33
動画ウィンドウ.....	36
エフェクト.....	38
オプション設定.....	44
静止画ファイルの保存.....	45
Slide Theater.....	47
Slide Theater の機能.....	47
アルバム.....	48
画像の読み込み.....	50
エフェクト.....	51

Appendix

ハードウェア仕様.....	54
---------------	----

第 1 章

確 認

この章では、Power Movie PCI2 のセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

・使用許諾契約書について

・パッケージ内容の確認

・お問い合わせについて

・注意事項

・動作環境の確認

Power Movie PCI2

使用許諾契約書について

当社製品をご購入いただきありがとうございます。本製品をお使いいただくにはこの使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。ソフトウェアのセットアップ時に表示される使用許諾契約にご同意いただけない場合やご不明な点がありましたら、インストールを中止して、下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様がインストールを完了された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノープス カスタマーサポート

〒 651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2 カノープス株式会社

パッケージ内容の確認

パッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包については万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、当社カスタマーサポート (TEL. 078-992-5846) までご連絡ください。

■ Power Movie PCI2 同梱物

☐ Power Movie PCI ボード

☐ マニュアル

・ Power Movie PCI2 ユーザーズマニュアル (本書)

☐ ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書

本製品に関するサポートをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください (ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。当社よりご提供させていただいているサービスについては、CD-ROM に収録されている『重要・サポートについてのお知らせ.pdf』をご覧ください (『重要・サポートについてのお知らせ.pdf』をご覧くださいには、Adobe Reader が必要となります)。

ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離してお送りください。切り離れたユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはオンラインユーザー登録ページ (<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>) をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品のサポートや修理をお受けいただく際に必要となります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

お問い合わせについて

ご使用方法や、このマニュアルについての不明な点、疑問などがございましたら、お問い合わせ内容により以下の宛先までお問い合わせください。

■お問い合わせの前には必ず以下の内容をご準備の上、お問い合わせください。

- (1) ご使用になっておられる PC の名称型番
 - ・メーカー製の場合→メーカー名と型番
 - ・自作、オーダーメイドの場合→マザーボード型番、CPU、チップセット、サウンドボード、グラフィックボード
- (2) オペレーティングシステム (Windows など) のバージョン
- (3) ハードディスクの容量、メモリの容量
- (4) 他に取り付けられている拡張ボードのメーカー名と製品名
- (5) 周辺機器があればそのメーカー名と製品名
- (6) 他に併用している当社製品があれば製品名とバージョン番号

製品のセットアップ・アプリケーションに関するお問い合わせ

■ Web からのお問い合わせ

- ・よくあるお問い合わせ (<http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm>)
- ・よくあるお問い合わせで対応策が見つからなかった場合、ご購入後のお問い合わせに (<http://www.canopus.co.jp/tech/contact2.htm>)

■電話でのお問い合わせ

カノープス株式会社テクニカルサポート

TEL : 078-992-6830 (祝日および当社指定休日を除く月～金曜日 10:00～12:00、13:00～17:00)

開発キット・システムの導入に関するお問い合わせ

カノープス株式会社システム開発サポート

e-mail : sdk@canopus.co.jp ※電話による受付は行っておりません。

注意事項

本製品をご使用の際は、以下の点にご注意ください。

■著作権に関して

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像をキャプチャした画像データは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャした画像データのご利用に関する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

■製品の運用結果に関して

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

動作環境の確認

本製品をセットアップする前にパソコン本体が Power Movie PCI2 を使用できる環境にあることを確認してください。

■パソコン本体

下記の条件を満たす PC/AT 互換機

※ただし、下記の条件を満たす全てのパソコンでの動作を保証するものではありません。

- ・ Intel Pentium III 450MHz 以上の CPU を搭載
 - ※レジャー機能には対応していません。
 - ※シングルプロセッサ環境のみ対応です。
 - ※ Intel 社以外のプロセッサでの動作は保証いたしません。
- ・ 64MB 以上のメモリを搭載
 - ※ Windows XP 環境では 128MB 以上を推奨。
- ・ PCI バス (Ver. 2.1 以上) を搭載
- ・ CD-ROM ドライブを搭載

■対応 OS 環境

- ・ Microsoft Windows XP Professional 日本語版 + サービスパック 2 以降
- ・ Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版 + サービスパック 2 以降
- ・ Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版 + サービスパック 4 以降

■グラフィックボード

- ・ 表示モード 640 × 480 High Color 以上
- ・ Direct Draw および Direct Draw Overlay に対応したグラフィックボード、ドライバが必要です。

■制限事項

Power Movie PCI2 によるオーバーレイ表示中に、直接 Windows の画面モードを変更する操作を行ったり、画面モードを変更するユーティリティソフトウェアを使用しないでください。

Windows のマルチモニタはサポートしておりません。

- PCI Express のビデオカードと組み合わせて使用した場合にオーバーレイ表示されない場合は Windows フォルダにある canopus.ini に下記の内容を追加してください。

```
[PowerMoviePCI.pmpnt]  
OverlayMethodDD=1  
OverlayMethodSO=1
```

- ビデオカードの組み合わせによりオーバーレイの内容が適切に更新されない場合があります。Windows フォルダにある canopus.ini に下記の内容を追加してください。

```
[PowerMoviePCI.mge]  
OverlayUpdateMethod=1
```

上記の設定でも問題が解決しない場合には下記の内容に変更してください。

```
[PowerMoviePCI.mge]  
OverlayUpdateMethod=0
```

第2章

セットアップ

この章では、Power Movie PCIの装着とソフトウェアのインストールについて説明します。

・各部の名称と機能

・ボードの装着

・周辺機器の接続

・ドライバのインストール

・ソフトウェアのインストール

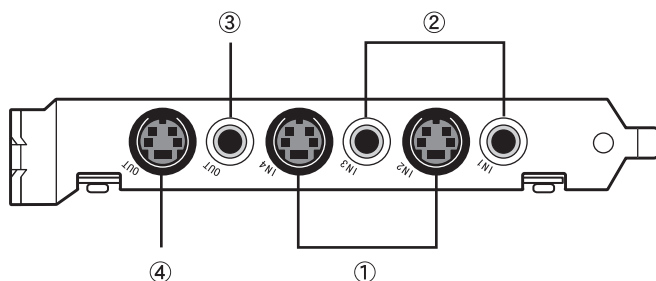
・アンインストール

Power Movie PCI2

各部の名称と機能

Power Movie PCI は、次のようなコネクタ配置になっています。

コネクタ配置



- ① S 信号入力端子 (S 端子)
- ② コンポジット信号入力端子 (ピンジャック)
- ③ コンポジット信号出力端子 (ピンジャック)
- ④ S 信号出力端子 (S 端子)



注 意

取り扱いおよび使用上の注意

- Power Movie PCI は精密機器です。取り扱いを誤ると破損することがあります。下記の点については、特に注意して取り扱ってください。
- Power Movie PCI の装着や取り外しを行う場合には、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、コンセントを抜いた状態で行ってください。電源を入れたままボードを装着したり、取り外したりした場合、Power Movie PCI やパソコン本体、周辺機器を破壊する恐れがあります。
- ボードに静電気が流れると、ボード上の部品が破壊される恐れがあります。コネクタや部品面、端子類には直接手を触れないでください。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、Power Movie PCI を装着したり取り外したりする前に、接地された金属製のものに触れて、体内の静電気を放電してください。
- Power Movie PCI の最大消費電流は次のようになっています。複数の拡張ボードを使用している場合は、すべてのボードの消費電流の合計がパソコン本体の最大供給電流を超えていないか、各拡張ボードの取扱説明書などをご覧のうえ、必ず確認してください。

Power Movie PCI 最大消費電力	+5V	0.85A (最大)
	+12V	0.30A (最大)
	-12V	—

ボードの装着

Power Movie PCI をパソコン本体の PCI スロットに装着します。以下の手順に従って作業を進めてください。

1 Windows を終了し、電源を切ります。

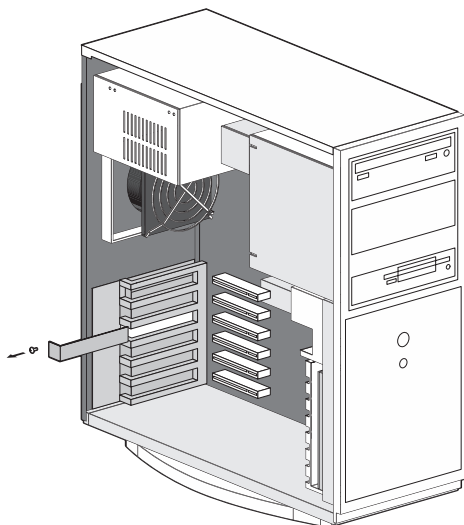
2 パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルを外します。

3 パソコン本体のカバーを外します。

※外し方はパソコン本体のマニュアルをお読みください。また、取り外したねじはなくさないように空き箱に入れておいてください。

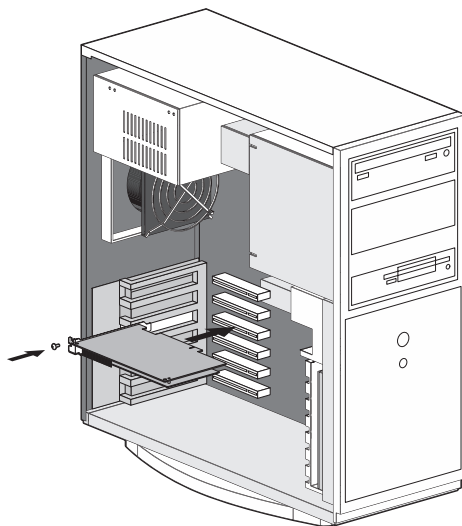
4 PCI スロットのスロットカバーを外します。

※取り外したねじはなくさないように空き箱に入れておいてください。また、取り外したスロットカバーは使用しませんので保管してください。



5 Power Movie PCI を PCI スロットに装着します。

※ボードは通常スムーズに装着できるようになっていますので無理に押し込まないでください。スムーズに装着できない場合は、Power Movie PCI とマザーボード上の部品が接触しているなどの原因が考えられます。ボードをいったん取り外して装着できない原因を確認するか、他の PCI スロットに装着してみてください。

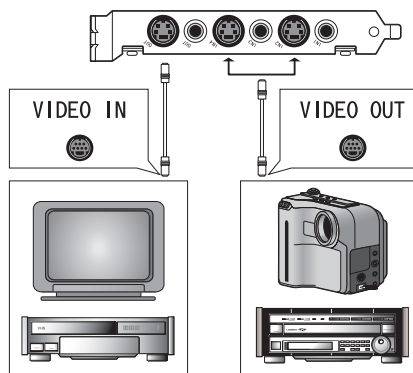
6 手順4で取り外したねじを使用して、Power Movie PCI のブラケットをパソコン本体に固定します。**7** パソコン本体のカバーを閉じ、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルを接続します。

周辺機器の接続

Power Movie PCI と周辺機器の接続は以下のとおり行ってください。

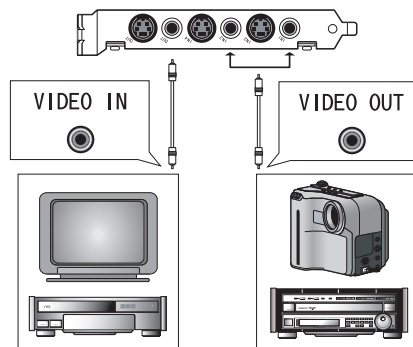
Sビデオ端子をもつ機器との接続

下のイラストを参考に、市販のSビデオケーブルを使用して Power Movie PCI のビデオ端子とビデオ機器のSビデオ端子を接続します。



コンポジットビデオ端子をもつ機器との接続

下のイラストを参考に、市販のコンポジットビデオケーブルを使用して Power Movie PCI のビデオ端子とビデオ機器のコンポジットビデオ端子を接続します。



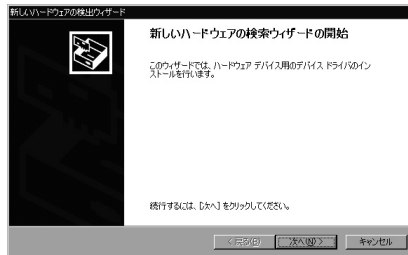
ドライバのインストール

Windows 2000 ドライバのインストール

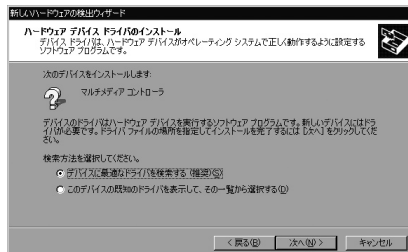
Windows 2000 でドライバのインストールを行うには、システム設定の変更を行える権限を持つ ID (Administrator、コンピュータの管理者など) でログオンする必要があります。あらかじめシステム設定の変更を行える権限を持つ ID でログオンしてからインストール作業を行ってください。また、この作業を行った後に、アプリケーションのインストールを行ってください。

第2章
インストール

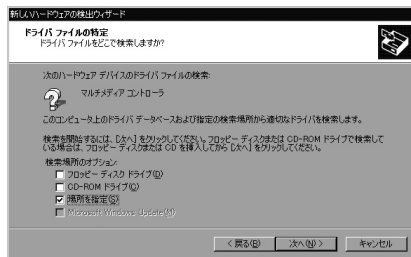
- 1 Power Movie PCI を装着して Windows 2000 を起動します。[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログに続いて [新しいハードウェアの検索ウィザードの開始] ダイアログが表示されますので、[次へ] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 2 [デバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] をクリックします。

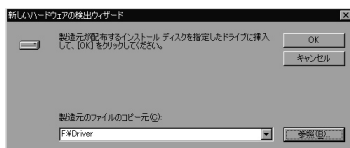


- 3** [ドライバファイルの特定] 画面が表示されますので[検索場所のオプション]から[場所を指定]にのみチェックし、[次へ]をクリックします。

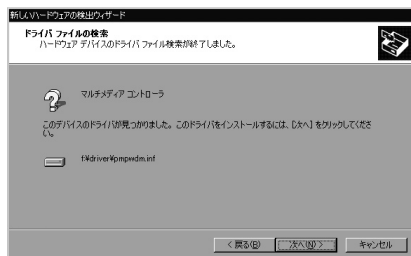


- 4** 『Power Movie PCI2 Installation CD』をCD-ROMドライブにセットし、[製造元のファイルのコピー先]に[F:\¥Driver]フォルダを指定して[OK]をクリックします。

*ここではCD-ROMドライブをF:ドライブと想定しています。



- 5** [ドライバ ファイルの検索] ダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。



ご使用の環境により以下の画面が表示されることがあります。[はい]をクリックします。



6 [完了]をクリックします。

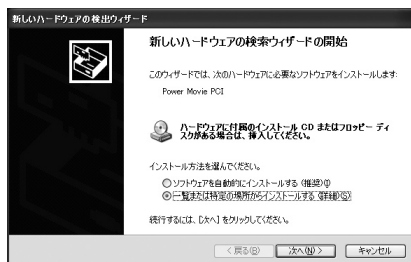
7 設定を有効にするためにコンピュータの再起動を促すダイアログが表示されますので、[はい]をクリックします。

⇒ コンピュータが再起動します。

Windows XP ドライバのインストール

Windows XP でドライバのインストールを行うには、システム設定の変更を行える権限を持つ ID (Administrator、コンピュータの管理者など) でログオンする必要があります。あらかじめシステム設定の変更を行える権限を持つ ID でログオンしてからインストール作業を行ってください。また、この作業を行った後に、アプリケーションのインストールを行ってください。

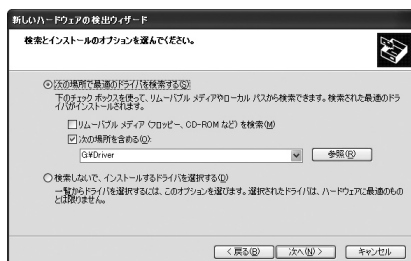
- 1 Power Movie PCI を装着して Windows XP を起動します。[新しいハードウェアの検索ウィザードの開始] ダイアログが表示されますので、[一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択し、[次へ] をクリックします。



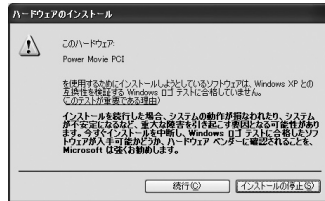
- 2 『Power Movie PCI2 Installation CD』を CD-ROM ドライブにセットします。

- 3 [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択し、[次の場所を含める] で、[G:¥Driver] を選択して [次へ] をクリックします。

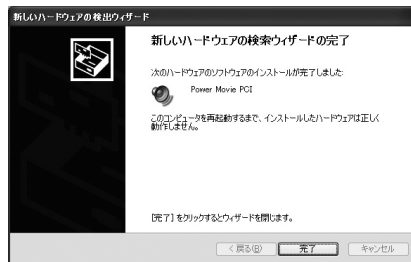
※ ここでは CD-ROM ドライブを G: ドライブと想定しています。



ご使用の環境により以下の画面が表示されることがあります。[続行] をクリックします。



4 [完了] をクリックします。



5 設定を有効にするためにコンピュータの再起動を促すダイアログが表示されますので、[はい] をクリックします。

⇒ コンピュータが再起動します。

ソフトウェアのインストール

Windows 2000/Windows XP でソフトウェアのインストールを行うには、システム設定の変更を行える権限を持つ ID (Administrator、コンピュータの管理者など) でログオンする必要があります。あらかじめシステム設定の変更を行える権限を持つ ID でログオンしてからインストール作業を行ってください。ここでは Windows XP 環境での手順を例に説明します。

1 『Power Movie PCI2 Installation CD』を CD-ROM ドライブにセットします。

2 CD-ROM が自動起動し、Power Movie PCI2 のセットアッププログラムが起動します。

⇒自動起動しない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム] (Windows 2000 環境の場合は [プログラム]) → [アクセサリ] → [エクスプローラ] と進んで『エクスプローラ』を起動し、CD-ROM を挿入したドライブを選択して開き、[Application] フォルダ内の [Setup.exe] をダブルクリックします。

3 [次へ] をクリックします。

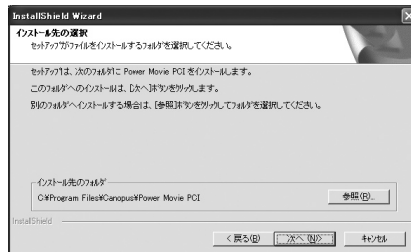


- 4** 使用許諾契約が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。使用許諾契約に同意されない場合は、[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



- 5** インストール先のフォルダを選択し、[次へ]をクリックします。



※インストール先のフォルダを変更する場合には、[参照]をクリックし、インストールするフォルダを選択するか、フォルダ名をキー入力します。

- 6** [完了]をクリックします。

アンインストール

Power Movie PCI2 を使用しなくなった場合、Power Movie PCI2 のアプリケーションをアンインストールすることができます。アンインストールを行うには、システム設定の変更を行える権限を持つ ID (Administrator、コンピュータの管理者など) でログオンする必要があります。あらかじめシステム設定の変更を行える権限を持つ ID でログオンしてからアンインストール作業を行ってください。ここでは Windows XP 環境を例に説明します。

- 1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] へ進み、システムのタスクから [プログラムの追加と削除] をクリックします。

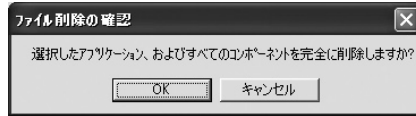
- 2 削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[Power Movie PCI] を選択し [変更と削除] をクリックします。



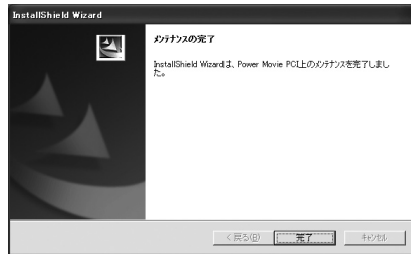
- 3 [削除] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 4** ファイル削除確認のメッセージが表示されますので [OK] をクリックします。



- 5** [完了] をクリックします。



⇒以上で Power Movie PC12 のアンインストールは完了です。

第 3 章

使用方法

この章では、Power Movie PCI をコントロールするためのアプリケーションの操作方法について説明します。

・ Video Magic

・ Slide Theater

Power Movie PCI2

Video Magic

Video Magic の機能

Video Magic は、Power Movie PCI のオーバーレイ表示機能を使って、ビデオ入力したソースに様々なエフェクトをかけて表示するアプリケーションです。

Video Magic は、Power Movie PCI に搭載されている 2 つのビデオデコーダを使用して、2 画面のオーバーレイ表示を行えます。この機能を使って、2 つのウィンドウを別々にオーバーレイ表示したり、1 つのウィンドウ内に 2 画面をオーバーレイ表示させることができます。

■ 動画ウィンドウについて

Power Movie PCI2 の動画ウィンドウには、オンスクリーン表示を行う動画 A (Super Overlay) と、Direct Draw Overlay 表示を行う動画 B があります。

動画 A と動画 B では、表示できるサイズが異なります。

表 1-1 動画の表示サイズについて

	動画 A	動画 B
最小	横 160/ 縦 120	横 160/ 縦 120
最大	横 640/ 縦 480	フルスクリーン

動画ウィンドウは、機能に応じて 1 つだけ使用したり、2 つ使用したりします。

■ Video Magic の起動

- 1 Windows の [スタート] メニューの [すべてのプログラム] (Windows 2000 環境では [プログラム]) の中の [Power Movie PCI] フォルダの中にある [Video Magic] をクリックします。

⇒ Video Magic のリモコンが開きます。

リモコンウィンドウ

リモコンウィンドウは、入力ソースを切り替えたりオーバーレイ表示ウィンドウにさまざまなエフェクトをかけたりするためのメインウィンドウです。



図 1-1 リモコンウィンドウ

これらのウィンドウには以下の機能があります。

表 1-2 リモコンウィンドウの各機能 (A：動画A B：動画B)

名前	種類	A	B	機能
POWER	ボタン	-	-	アプリケーションを終了
PINP	ボタン	-	-	ピクチャ・イン・ピクチャを使用
TYPE	ボタン	-	-	リモコンの表示を切り替える
OPTION	ボタン	-	-	オプション設定を行う
ICON	ボタン	-	-	リモコンをアイコン化する
ON/OFF	ボタン	○	○	動画ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える
VIDE01	ボタン	○	○	VIDE01 (IN1) に切り替える

名前	種類	A	B	機能
VIDEO2	ボタン	○	○	VIDEO2 (IN2) に切り替える
VIDEO3	ボタン	○	○	VIDEO3 (IN3) に切り替える
VIDEO4	ボタン	○	○	VIDEO4 (IN4) に切り替える
ZOOM	ボタン	×	○	拡大表示する
MINIFY	ボタン	○	○	縮小表示する
MULTI	ボタン	○	○	マルチ表示する
PLURAL	ボタン	○	○	複数チャンネル表示する
MIRROR	ボタン	○	×	ミラー表示する
FREEZE	ボタン	○	○	フリーズする
STROBE	ボタン	○	○	ストロボ表示する
SETTING	ボタン	○	○	エフェクトに関する設定を行う
ASPECT	ボタン	○	○	動画のアスペクト比 (4:3) を固定する
FIELD	ボタン	×	○	動画モード / 静止画モードを切り替える
SAVE	ボタン	○	○	静止画をキャプチャファイルに保存する
SIZE	ボタン	○	○	動画のサイズを変更する
DEFAULT	ボタン	○	○	画質設定をデフォルトに戻す
BRIGHTNESS	スライダ	○	○	明るさを調整する
HUE	スライダ	○	○	色合いを調整する
SATURATION	スライダ	○	○	色の濃さを調整する
CONTRAST	スライダ	○	○	コントラストを調整する
SHARPNESS	スライダ	○	○	シャープネスを調整する

■フィールドについて

[FIELD] ボタンをクリックすると、動画の表示方法が変わります。

FRAME : 偶数フィールドと奇数フィールドの両方を表示します。

動きの少ない映像を見るのに適しています。

ODD : 奇数フィールドだけを表示します。

動きの激しい映像を見るのに適しています。

EVEN : 偶数フィールドだけを表示します。

動きの激しい映像を見るのに適しています。

ご使用の入力ソースの信号状態にあわせて切り替えてください。
(リモコンBでコントロールする動画Bウィンドウのみ有効です。)

■TYPE について

リモコンウィンドウは [TYPE] ボタンにより、図 1-1 のフルサイズ型と、いくつかの機能を削った図 1-2、図 1-3、図 1-4 の4種類に変形させることができます。

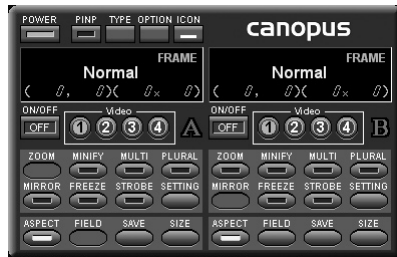


図 1-2 画質コントロールのない状態



図 1-3 A または B のみの状態



図 1-4 図 1-3 の状態で画質コントロールがない場合

動画ウィンドウ

動画ウィンドウは、ビデオ入力したソースを表示するウィンドウです。Power Movie PC12 は、動画 A ウィンドウと動画 B ウィンドウの 2 画面を次の 2 種類の方法で同時にオーバーレイ表示することができます。

- ・ ノーマル表示
- ・ ピクチャ・イン・ピクチャ表示

表示モードは [PINP] ボタンで切り替えます。

■ ノーマル表示

ノーマル表示は、A と B の 2 つの動画ウィンドウを使って別々に表示します。



図 1-5 動画 A のウィンドウと動画 B のウィンドウ

ウィンドウ A にはリモコン A でコントロールする画面が、ウィンドウ B にはリモコン B でコントロールする画面が表示されます。リモコンの [ON/OFF] ボタンで、両方を表示したり、片方だけ表示することができます。

■ピクチャ・イン・ピクチャ表示

ピクチャ・イン・ピクチャ表示は、動画Bを表示しているウィンドウBに、子画面として動画Aを表示する機能です。



図 1-6 ピクチャ・イン・ピクチャ表示

子画面は、ドラッグすると移動することができます。また、枠を摘んでドラッグするとサイズを変更することができます。

ウィンドウサイズについては、表 1-1 に記した制限があります。

エフェクト

Video Magic ではオーバーレイ表示の際にさまざまなエフェクトをかけることができます。エフェクトには次の種類があります。

- ・ フリーズ [FREEZE]
- ・ ストロボ [STROBE]
- ・ ミラー [MIRROR] （動画 A のみ使用可能）
- ・ マルチ [MULTI]
- ・ 拡大 [ZOOM] （動画 B のみ使用可能）
- ・ 縮小 [MINIFY]
- ・ 複数チャンネル [PLURAL]

エフェクトは、1つのウィンドウ内で表 1-3 のように組み合わせで使用することができます。

表 1-3 エフェクトの組み合わせ（○は組み合わせ可能、×は組み合わせ不可）

	フリーズ	ストロボ	ミラー	マルチ	拡大	縮小	複数チャンネル
フリーズ	-	×	○	○	×	○	○
ストロボ	×	-	○	×	×	○	×
ミラー	○	○	-	○	×	○	○
マルチ	○	×	○	-	×	×	○
拡大	×	×	×	×	-	○	×
縮小	○	○	○	×	○	-	○
複数チャンネル	○	×	○	○	×	○	-

■フリーズ

表示している映像をフリーズします。

設定値はありません。

■ストロボ

設定されたインターバル時間間隔で静止画を取り込みます。

設定は、[SETTING] ボタンをクリックすると起動する「エフェクト設定」ダイアログボックスの、[ストロボ] タブで行います。



項目	設定値
インターバル時間	0.1 ～ 3.0 秒 (0.1 秒単位)

■ミラー

指定された反転方向で動画を表示します。この機能は動画Aウィンドウでのみ使用可能です。

設定は、[SETTING] ボタンをクリックすると起動する「エフェクト設定」ダイアログボックスの、[ミラー] タブで行います。

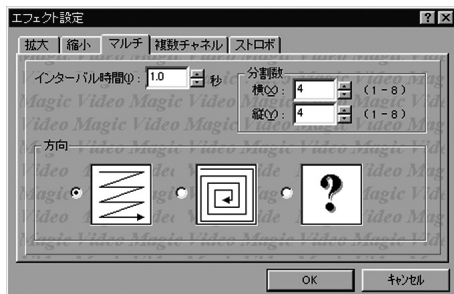


項目	設定値
反転－上下	ON/OFF
反転－左右	ON/OFF

■マルチ

指定した分割数でウィンドウを分割し、設定したインターバル時間で順番に映像を表示します。

設定は、[SETTING] ボタンをクリックすると起動する「エフェクト設定」ダイアログボックスの、[マルチ] タブで行います。



項目	設定値
分割数－横	1 ～ 8 (最大値は表示ウィンドウサイズで変化)
分割数－縦	1 ～ 8 (最大値は表示ウィンドウサイズで変化)
インターバル時間	0.1 ～ 3.0 秒 (0.1 秒単位)
方向	左から右、回転、ランダム

■拡大

入力ソースの任意の領域を拡大して表示します。この機能は動画Bウィンドウでのみ使用可能です。

設定は、[SETTING] ボタンをクリックすると起動する「エフェクト設定」ダイアログボックスの、[拡大] タブで行います。



項目	設定値
位置－横	0 ～ 480
位置－縦	0 ～ 360
サイズ－横	160 ～ 640
サイズ－縦	120 ～ 480

■縮小

入力ソースをウィンドウ内に縮小して表示します。

設定は、[SETTING] ボタンをクリックすると起動する「エフェクト設定」ダイアログボックスの、[縮小] タブで行います。



項目	設定値
アスペクト比固定	ON/OFF
背景	色・壁紙
色の設定	背景色を選択します
壁紙の設定	壁紙にするファイルを選択します

■複数チャネル

入力チャネルを設定したインターバル時間間隔で順番に切り替えて表示します。
設定は、[SETTING] ボタンをクリックすると起動する「エフェクト設定」ダイアログボックスの、[複数チャネル] タブで行います。



項目	設定値
インターバル時間	0.5 ～ 3.0 秒 (0.1 秒間隔)
入力選択－順番1	Video1, Video2, Video3, Video4
入力選択－順番2	Video1, Video2, Video3, Video4
入力選択－順番3	Video1, Video2, Video3, Video4, なし
入力選択－順番4	Video1, Video2, Video3, Video4, なし

オプション設定

オプション設定ボタン [OPTION] をクリックすると、Video Magic に共通する設定を行うことができます。



設定したい項目をチェックし、[OK] をクリックします。

- ・ **常にトップに表示**

他のアプリケーションがアクティブウィンドウになっても常に最前面に表示します。

- ・ **ヘルプを表示しない**

カーソルが各ボタン上にあるときも、ヘルプ（ボタンの機能説明）を表示しません。

- ・ **フルスクリーン時にカーソルを表示しない**

表示サイズをフルスクリーンに切り替えたときに、マウスカーソルを表示しません。

- ・ **セーブ**

静止画保存ボタン [SAVE] をクリックしたときの保存方法を指定します。

上書き保存 : ファイル名を入力するダイアログボックスを開かずに、上書きでファイルを保存します。

名前を付けて保存 : [SAVE] をクリックするごとにファイル名を入力するダイアログボックスを開きます。

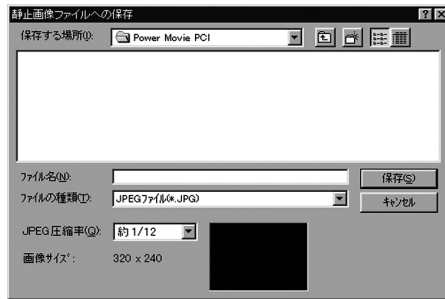
- ・ **ファイル名の末尾の数字を連番扱いにする**

この項目をチェックすると、ファイル名の最後が数字の場合、その数字に +1 したファイル名で静止画を保存します。例えば「FILE001. BMP」の場合、次のファイルは「FILE002. BMP」になります。

静止画ファイルの保存

Power Movie PCI2は動画ウィンドウに表示されているデータを静止画として保存することができます。

[SAVE] ボタンをクリックして静止画キャプチャを行った場合、「上書き保存」で初めて保存する場合や「名前を付けて保存」を指定している場合に「静止画ファイルへの保存」ダイアログボックスが表示されます。



- ・ 保存する場所 : 保存するフォルダを指定します。
- ・ ファイル名 : ファイル名を指定します。
- ・ ファイルの種類 : 保存形式を指定します。
- ・ JPEG 圧縮率 : JPEG 形式のファイルの圧縮率を指定します。



ポイント

ファイル名や保存形式を変更する場合は、オプション設定で「名前を付けて保存」を選択して、「静止画ファイルへの保存」ダイアログボックスを開いてください。



保存形式

- JPEGファイル : フルカラーのJPEG形式で保存します。
- ビットマップ : フルカラーのWindowsビットマップ形式で保存します。

■ Video Magic の制限事項

● 静止画保存について

- ・表示されている映像のサイズと保存される画像サイズとは同じではありません。

動画 A (Super Overlay)	動画ウィンドウのサイズに関わらず静止画の画像サイズは [640x480] ピクセルになります。
-------------------------	---

動画 B (Direct Draw Overlay)	動画ウィンドウの横サイズが 640 ピクセルを超える場合、静止画の画像サイズは [640x480] ピクセルとなります。 動画ウィンドウの横サイズが 320 ピクセル以上 639 ピクセル以下の場合、静止画の画像サイズは [320x240] ピクセルとなります。 動画ウィンドウの横サイズが 319 ピクセル以下の場合、静止画の画像サイズは [160x120] ピクセルとなります。
-------------------------------	---

- ・ズーム表示中に静止画像保存を行った場合、ビデオ入力した映像全体について保存します。
- ・ストロボ表示中に静止画像保存を行う場合、一時的にストロボが解除されるため、その状態で取り込んだ画像が保存されます。
- ・縮小表示中のウィンドウの背景に使用する静止画像のサイズが横 640 ピクセルまたは縦 480 ピクセルを超える場合は、640x480 ピクセルに削られた状態で表示されます。
- ・ストロボ表示、マルチ表示、複数チャンネル表示のインターバル時間を短くすると、ツールのヒントがでなくなる場合があります。
- ・複数のエフェクトを複合させて表示した状態でインターバル時間を短くすると、エフェクトが正しく行われない場合があります。

Slide Theater

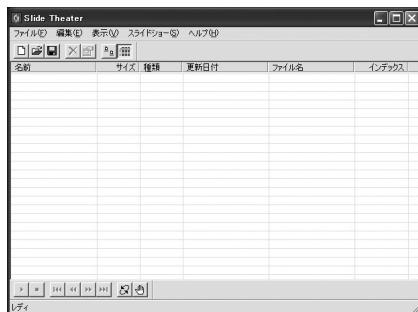
Slide Theater の機能

Slide Theater は、Power Movie PCI のビデオ出力機能を使って、静止画を外部へビデオ出力するためのアプリケーションです。

■ Slide Theater の起動

- 1 Windows の [スタート] メニューの [すべてのプログラム] (Windows 2000 環境では [プログラム]) の中の [Power Movie PCI] フォルダの中にある [Slide Theater] をクリックします。

⇒「Slide Theater」画面が開きます。



アルバム

Slide Theater はアルバムを作成し、それをもとにスライドを表示します。アルバムの作成は「Slide Theater」の各メニューを使って行います。各メニューの一部の機能は、タスクバーやツールバーから也可以使用できます。

■ファイルメニュー

ファイルメニューからは、アルバムの作成、読み込み、静止画ファイルの読み込みなどの操作を行います。

新規作成(N)	Ctrl+N
静止画像のロード(L)...	
サムネイルファイルを開く(O)...	Ctrl+O
サムネイルファイルを保存(A)...	
サムネイルファイルの一覧	
Slide Theater の終了(Q)	

- 新規作成 : 新規にアルバムを作成します。
- 静止画像のロード : 静止画ファイルを読み込みます。
- サムネイルファイルを開く : 以前保存したアルバムを読み込みます。
- サムネイルファイルを保存 : アルバムを保存します。
- サムネイルファイルの一覧 : 前に読み込んだアルバムの一覧を表示します。
- Slide Theater の終了 : Slide Theater を終了します。

■編集メニュー

編集メニューからは、読み込んだアルバムに登録されているファイルの削除とすべてのファイルを選択状態にすることができます。

削除(D)	Delete
すべて選択(L)	Ctrl+A

- 削除 : 選択したファイルをアルバムから削除します。
- すべて選択 : アルバム上のファイルをすべて選択します。

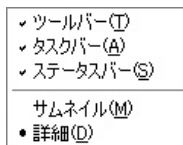


ポイント

ここで削除を実行してもファイルがアルバムの登録から削除されるだけで、ファイルそのものが削除されるわけではありません。

■表示メニュー

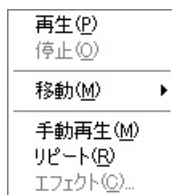
表示メニューからは、Slide Theater のウィンドウの表示状態を変更することができます。



- ツールバー : ツールバーの表示 ON/OFF を切り替えます。
- タスクバー : タスクバーの表示 ON/OFF を切り替えます。
- ステータスバー : ステータスバーの表示 ON/OFF を切り替えます。
- サムネイル／詳細 : ウィンドウのファイル表示をサムネイル表示か、詳細表示に切り替えます。

■スライドショーメニュー

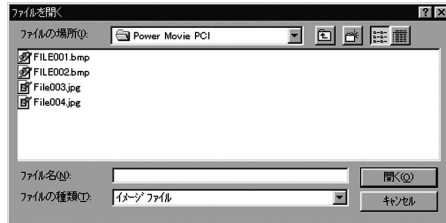
スライドショーメニューからは、外部ビデオに出力して表示するスライドをコントロールすることができます。



- 再生 : スライド再生または一時停止します。
- 停止 : 再生中のスライドを停止します。
- 移動 : スライドをコントロールします。
- 先頭 アルバムの先頭のスライドを表示します。
- 後退 アルバムの現在表示しているスライドの前のスライドを表示します。
- 前進 アルバムの現在表示しているスライドの次のスライドを表示します。
- 最後 アルバムの最後のスライドを表示します。
- 手動再生 : スライドを手動でコントロールします。
- リピート : スライドを繰り返し再生します。
- エフェクト : 画像を切り替え時のエフェクトを設定します。

画像の読み込み

アルバムへ画像を読み込むには、ファイルメニューから「静止画像のロード」を選択します。



■読み込み可能な画像形式

Slide Theater では以下の形式のファイルを読み込むことができます。

- ・フルカラー JPEG 形式
- ・256 色、16bit、24bit Windows ビットマップ形式

いずれもサイズが 80 × 60 ～ 1024 × 768 までの画像のみ扱えます。大きなサイズや小さなサイズの画像はスケーリング（縦横比は維持します）されて出力されます。

■画像の読み込み方法

- 1** [静止画像のロード] を選択すると、ファイルを開くダイアログボックスが開きます。

⇒読み込み可能な画像ファイルの一覧が表示されます。

- 2** アルバムに追加するファイルを選択し、[開く]をクリックしてください。

⇒画像がアルバムに追加されます。



ポイント

CTRLキーを押しながらファイルを選択すると、複数のファイルを選択することができます。SHIFTキーを押しながらファイルを選択すると、連続したファイルを一度に選択することができます。

エフェクト

Slide Theater では、スライド出力している画像ファイルを切り替える際にエフェクトを追加することができます。



■エフェクトの種類

Slide Theater のエフェクトには以下の種類があります。

・スライド

詳細設定で設定した方向から、新しい映像を滑り込ませて映像を切り替える方法です。

・ワイプ

詳細設定で設定した方向から、元の映像をぬぐい去りながら新しい映像に切り替える方法です。

・ブラインド

詳細設定で設定した方向に、ブラインドを開けるように映像を切り替える方法です。

■エフェクトのかけ方

1 エフェクトをかける画像を選択状態にします。

⇒スライドショーのエフェクトメニューがアクティブになります。

2 [スライドショー]メニューから[エフェクト]を選択します。

⇒スライドショーのエフェクトメニューがアクティブになります。

3 追加するエフェクトを選択し、[OK]をクリックします。

■ Slide Theater の制限事項

● サムネイルについて

- ・ サムネイルの数は Windows の画面の色数で制限されます。

HighColor - 約 500

TrueColor - 約 250

● ビデオ出力について

- ・ ビデオ出力の色数は Windows の画面の色の設定値に依存します。

Appendix

・ハードウェア仕様

Power Movie PCI2

ハードウェア仕様

対応ビデオ方式		NTSC
ビデオ入力端子		ピンジャック（コンポジット）x2 S 端子 x2
ビデオ出力端子		ピンジャック（コンポジット）x1 S 端子 x1
データサンプリングクロック		12. 2727MHz（NTSC スクエアピクセル）
オーバーレイ表示サイズ（最大）		使用している Windows のフルサイズ x1 画面 + 640x480x1 画面
画質調整		ブライトネス、コントラスト、色合い、色の濃さ、シャープネス
使用資源	割り込み	プラグ & プレイにより割り当てられる IRQ を 1 つ
	メモリ空間	プラグ & プレイにより割り当てられる 256 バイト
最大消費電流	+5V	0. 85A
	+12V	0. 30A
サイズ		175 x 107 x 17 (mm)
質量		135g

